

松浦武四郎記念館 特別公開

武四郎 湮槃凶

たけしろうねはんず



至宝ふたたび

令和8年(2026)

2.6(金)▶4.5(日)



松浦武四郎記念館

〒515-2109 三重県松阪市小野江町383

TEL.0598-56-6847

松浦武四郎記念館



*藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です。





横たわる仏教の開祖釈迦^{しやか}の周りを、弟子や動物たちが悲しみながら取り囲むなど、釈迦が亡くなった(涅槃に入る)際の様子が描かれた絵を仏涅槃図^{ぶつねはんず}といいます。

北海道の名付け親と称される幕末維新期の探検家、松浦武四郎(1818~1888)は生前、自らを題材とした涅槃図の制作を絵師の河鍋暁斎(1831~1889)に依頼し、暁斎は武四郎の細かな追加注文を受けながら約5年の歳月をかけて見事に描き上げました。釈迦の涅槃図にアレンジを加えて、松の木の下で安らかに昼寝をしているように横たわる武四郎の足元では妻が泣き崩れ、自らが蒐集した古物の数々が武四郎の周りに集い、空からは浮世絵に登場するような美しい女性たちが雲に乗って急ぎ駆け付けて来るという、まさに武四郎の夢が詰まった涅槃図です。

蝦夷地^{えぞち}(現在の北海道など)の調査に生涯をささげ、「北海道人^{ほっかいどうじん}」とも号した武四郎が、自らの死を、親しい人物のみならず大好きなコレクションなどに囲まれて、木の下で昼寝をしているように迎えたいとの思いから、武四郎涅槃図は「北海道人樹下午睡図^{ほっかいどうじんじゅかごすいず}」とも呼ばれてきました。

このたび、武四郎の命日である2月10日にあわせて武四郎涅槃図を特別に公開します。本作は、登場する人物などについて、実在する武四郎蒐集の絵画や古物などを参考にした描写が随所にみられます。この機会にじっくりとご覧いただければと思います。

武四郎 涅槃図

松浦武四郎記念館 特別公開



ほっかいどうじんじゅかごすいず

ご利用案内

開館時間 午前9時00分から午後4時30分まで
詳しくは松浦武四郎記念館公式HPのカレンダーにて▶

休館日 毎週月曜日(祝日は開館)
2月11日(水・祝)は開館して翌2月12日(木)は休館、武四郎まつりの会場設置・片付け作業のため
2月20日(金)・同21日(土)・同23日(月・祝)は臨時休館、2月24日(火)は祝日の翌日のため休館。

入館料 19歳以上…360円[230円] / 6歳以上18歳以下…230円[120円]
就学前の子どもは無料、お得な年間パスポートあり。 ※【】内は20名以上の団体料金。

交通案内

近鉄
・伊勢中川駅東口からタクシーで約7分
<平日のみ>三雲地域コミュニティバス「たけちゃんハートバス」(9人乗り)を運行、バス停【松浦武四郎記念館】下車。
JR・近鉄
・津駅前(東口)から三交バス「太白」行き、バス停【小野江】下車
国道23号 小野江町交差点を西へ徒歩約15分

電車・バスで

お車で
<無料駐車場あり、50台まで>
・伊勢自動車道【一志嬉野I.C】または【久居I.C】からそれぞれ車で約15分
・国道23号【小野江町交差点】を西へ約1km



毎月
第2日曜日
午前10時~11時
好評開催中

武四郎講座

参加費 110円(資料代) 定員 60名

申込方法 事前申込不要・当日先着順

武四郎涅槃図

講師:佐藤 圭祐(当館 学芸員)
令和8(2026)年2月8日(日)

武四郎の飛騨紀行

講師:山本 命(当館 館長)
令和8(2026)年3月8日(日)



※講座終了後に
展示解説あり。

担当学芸員による
ギャラリー
トーク

日時 令和8(2026)年
2月28日(土)、3月29日(日)
いずれも午後1時~2時
場所 企画展示室
※予約不要、入館料のみ必要。

アイヌ文化体験交流会

令和8年 2月21日 土
14時30分~16時30分

会場 ハートフルみくも 保健福祉センター<松阪市原原町2678>

料金 参加無料 定員 約100名
(お子様から大人まで参加無料)

詳細および申込方法は、右のQRコードもしくは下記電話番号へ。
*QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



アイヌ文化体験
交流会

第31回 武四郎まつり

令和8年 2月22日 日
10時00分~15時30分
※記念館と誕生地は午後4時半まで開館。

会場 松浦武四郎記念館、松浦武四郎誕生地、松阪市小野江公民館

料金 当日は記念館・誕生地ともに無料開館

【問合せ】武四郎まつり実行委員会事務局 TEL0598-56-7905

※当日のお問合せは松浦武四郎記念館(0598-56-6847)へ。



武四郎まつりHP



武四郎まつり マスコットキャラクター たけちゃん